

令和6年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校保健体育】

1 模擬授業の内容について

※雨天時においても、全ての模擬授業・種目を実施する。

(1) 必須種目「ダンス」

- ・3分程度の現代的なリズムに合わせて即興でダンスを踊る。

(2) 模擬授業「陸上競技 ハードル走」

- ・授業概要：授業構想を試験当日までに立案し、授業の導入を模擬授業として行う。
 - ・課題：『スピードに乗ったハードリングをするために、遠くから踏み切り、勢いよくまたぎ越すように走ろう』
 - ・想定：生徒は、小学校にて既にハードル走の学習を行っている。実態は、第1ハードルを勢いよくまたぎ越すことができればタイムが縮まることは知っている。本時は、第1ハードルを勢いよくまたぎ越すために、遠くから踏み切ることに重点をおく。
 - ・評価の観点：教師（受験者）の指導内容（示範時における見る視点に関する説明、課題に準じたハードル走の技術のポイントに関する説明、課題に準じた練習方法）と姿勢・態度の2観点を評価する。
 - ・指導方法：（見る視点、技術ポイント、練習方法）に関する説明は、口頭で行う。
- ### (3) 選択種目（バレーボール、バスケットボール、サッカーから1種目選択）
- ・バレーボール・・・ 基本的なパス、スパイク、ボディーコントロール
 - ・バスケットボール・・・ 基本的なパス、ドリブル、シュート、ボディーコントロール
 - ・サッカー・・・ 基本的なパス、ドリブル、シュート、ボディーコントロール

2 模擬授業「陸上競技 ハードル走」の実施方法について

- (1) 入場から退場まで約5分間で行う。そのうち、受験者が模擬授業を行う時間は3分以内とする。入室後、指定された位置に立ち、受験番号を言う。試験委員の「はじめてください」の合図で、模擬授業を開始する。当日は、練習等を行う時間を1分間設ける。その後、模擬授業（示範を含む）を3分で行う。3分経過した場合は、途中でも終了とする。
- (2) 各会場にはハードルが1台準備されているので、使用しても構わない。
- (3) 晴天時は運動場で試験を行うため、示範を見せられるとよい。雨天の場合は、ハードルを使ってゆっくり見せる等工夫する。
- (4) 掲示物や黑板への記入等を行わない。掲示物があったり、黑板に書いてあったりするものと想定して模擬授業を行っても構わない。
- (5) 模擬授業（3分）の流れは、特に定めない。受験者が考え、時間内に終わるようにすること。

- (6) 持ち込み可能なものは、2次試験前に準備したメモ（A4サイズ1枚）のみとする。
メモを見ながら授業を行っても構わない。
メモは評価の対象とはしない。提出は不要とする。

【メモについて】

- ・ A4サイズ1枚（両面使用可）とする。
- ・ 授業案、口述原稿など、模擬授業に必要な内容を自由に書いてよい。
- ・ 本や教材などをコピーしたものでも可。
- ・ メモを道具（教材）と見立てて示したり、黒板等に掲示したりすることはできない。

- (6) 試験委員を児童と想定して模擬授業を行う。ただし、試験委員とのやり取りは一切できない。
(7) 模擬授業で使用できるものは以下のものである。

ハードル1台

3 2次試験当日の持ち物について

- ・ 試験に適した動きやすい服装、シューズ（体育館用と運動場用）を準備する。
- ・ 試験を受ける際の上衣には、胸及び背中に受験番号を記載した白布（縦15cm×横25cm）を縫いつける。
- ・ 『中学校保健体育実技試験選択種目調査票』を事前にHPからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、2次試験初日の8月16日（水）に、受付で提出する。
- ・ 2次試験前に準備した模擬授業で使うメモを持参してもよい。

4 体育実技を受験できない者について

- ・ 身体障がい又は健康上の理由等により、体育実技を受験できない者は、8月8日（火）までに採用担当に連絡するとともに、当日試験本部まで必ず申し出ること。なお、その理由を証明するものを提示すること。

【連絡先】 岐阜県教育委員会義務教育課 小中学校人事係 058-272-8740

令和6年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験

中学校保健体育 実技試験選択種目調査票

受験番号	
------	--

氏名	
----	--

※選択種目で、選択する種目の欄に○を付けて、2次試験初日の

8月16日（水）に、受付で提出すること。

選択種目	バレーボール	
	バスケットボール	
	サッカー	